



2026年2月10日

報道関係者各位

慶應義塾大学

「KEIO SPORTS SDGs シンポジウム 2026」の開催(3/7) ～行動が変われば社会が変わる：スポーツでひらく持続可能な未来～

KEIO SPORTS SDGs(慶應スポーツ SDGs)は、慶應義塾のスポーツ・運動・身体活動を推進する専門部門と関連部門が連携する横断型プラットフォームです。スポーツ医学研究センター、大学院健康マネジメント研究科、体育研究所、医学部スポーツ医学総合センター、大学院システムデザイン・マネジメント研究科、大学院政策・メディア研究科が中心となり、持続可能でバランスの取れたスポーツ・運動・身体活動の促進と、SDGs達成およびウェルビーイング向上に向けた活動を行っています。この度、2026年3月7日（土）に「KEIO SPORTS SDGs シンポジウム 2026～行動が変われば社会が変わる：スポーツでひらく持続可能な未来～」を開催します。つきましては、イベント欄への掲載および、当日のご取材のほどよろしくお願ひいたします。

1. 趣旨

KEIO SPORTS SDGs は、自治体や企業など多様なステークホルダーと協力し、持続可能でインクリーシブなスポーツ・身体活動の促進を目指して、広範なプロジェクトに取り組んでいます。2022年度以降は、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュートのスタートアップセンターとして活動し、2024年4月からは正式なセンターとして活動を拡大してきました。

2025年度は、4つの専門分科会を中心に、スポーツを通じた持続可能な社会づくりに向けた取り組みを強化しています。本シンポジウムでは、これまでの進捗状況や具体的な取り組み事例を報告するとともに、一人ひとりがアクションを起こすことから始まる、インクリーシブでサステナブルなスポーツの価値を再考する機会とします。さらに、各分科会からの最新のアップデートを共有し、スポーツを通じた持続可能な未来に向けて、多様なステークホルダーとの連携を深める場とします。

2. 「KEIO SPORTS SDGs シンポジウム 2026」開催概要

日 時： 2026年3月7日（土）13:00～17:00 （開場 12:30）

場 所： 慶應義塾大学日吉キャンパス独立館 DB203号室

参加料： 無料

参加申込： Peatix での事前申込

（<https://keiosportssdgs2026.peatix.com>）

定 員： 200名 ※後日、講演動画を配信予定（申込者への期間限定公開）

主 催： 慶應義塾大学

担 当： KGRI 慶應スポーツ SDGs センター (SU) スポーツ医学研究センター

大学院健康マネジメント研究科 大学院システムデザイン・マネジメント研究科

体育研究所 SFC 研究所 xSDG・ラボ 医学部 スポーツ医学総合センター

グローバルリサーチインスティテュート

特設サイト：<https://sportssdgs.keio.ac.jp/2026/01/19/6465/>

内容：

●オンライン特別講演

演題：国民の健康増進のための身体活動政策について、私たちは、身体活動コミュニティとして、しっかりと取り組めているだろうか？

演者：University of Limerick, Physical Activity for Health Research Centre
Chair in Physical Activity and Health, Professor Catherine B. Woods

※オンデマンド動画を事前配信

●シンポジウム趣旨説明

演題：KEIO SPORTS SDGs 本年度の活動と今後の展望

演者：スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科 教授 小熊 祐子

●特別講演（オンライン特別講演）

演題：SDGs からビヨンド SDGs へ

演者：大学院政策・メディア研究科 教授 SFC 研究所×SDG ラボ代表 蟹江 憲史

演題：When it comes to physical activity policy for population health, are we -as a physical activity community- up to the challenge?

演者：University of Limerick, Physical Activity for Health Research Centre
Chair in Physical Activity and Health, Professor Catherine B. Woods

●セッション①

『まちと職域がつくる、心の健康と行動変容～環境と仕組みから考えるウェルビーイング～』

演題：健康で活き活きと働くために

演者：慶應義塾大学総合政策学部、大学院健康マネジメント研究科 教授 島津 明人

演題：デジタル時代のこころの健康づくり

演者：慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター 教授 岸本 泰士郎

モデレーター：

スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科 教授 小熊 祐子

●セッション②

『だれもが主役になれる地域へ～インクルーシブな場づくりが育む、スポーツとコミュニティ～』

演題：「レジリエンス・スポーツ®」でつなぐ地域福祉：世田谷における10年の実践

演者：一般社団法人輝水会 理事 木畑 実麻

演題：脳性麻痺者7人制サッカー（CPサッカー）におけるSDGsの現在地

演者：慶應義塾大学体育研究所 准教授 CPサッカー男子日本代表 コーチ 福士 德文

モデレーター：

体育研究所 准教授 稲見 崇孝

●会場展示

- ・ KEIO SPORTS SDGs
- ・ KEIO KIDS PERFORMANCE ACADEMY (KKPA)
- ・ 富山国際大学付属高等学校ほか



シンポジウム問い合わせ先：慶應義塾大学スポーツ医学研究センター

電話 045-566-1090

FAX 045-566-1067

e-mail keiosportssdgs@gmail.com

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部、社会部、運動部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（担当：増田）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>